

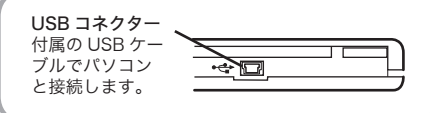
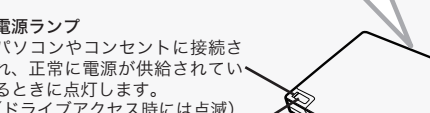
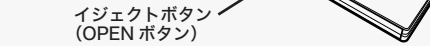
35012544-01 **BUFFALO**  
ポータブル Blu-ray ドライブ  
**らくらく!セットアップシート**

本製品のセットアップ手順や注意事項を記載しています。

### パッケージ内容

万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品形状はイラストと異なる場合があります。

<input type="checkbox"/> <b>ドライブ本体</b> ..... 1台	<input type="checkbox"/> <b>ユーティリティー DVD (DVD-ROM)</b> ..... 1枚
<input type="checkbox"/> <b>ユーティリティー DVD (DVD-ROM)</b> ..... 1枚	<input checked="" type="checkbox"/> <b>らくらく!セットアップシート (本紙)</b> ..... 1枚
<input type="checkbox"/> <b>DiXiM BD Burner for BUFFALO の使い方</b> ..... 1枚	<input type="checkbox"/> <b>USB ケーブル</b> ..... 1本
<input type="checkbox"/> <b>USB ケーブル</b> ..... 1本	<input type="checkbox"/> <b>ダブル給電対応 USB ケーブル</b> ..... 1本

USB コネクタ  
付属の USB ケーブルでパソコンと接続します。

電源ランプ  
パソコンやコンセントに接続され、正常に電源が供給されているときに点灯します。  
(ドライブアクセス時には点滅)


イジェクトボタン (OPEN ボタン)

※本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が印刷されています。本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。  
※別紙で追加情報が添付されている場合は、必ず参照してください。

### 1 パソコンに接続する

パソコンの電源をONにしてWindowsを起動し、付属のUSBケーブルをパソコンに接続します。本製品を、パソコンに接続すると、OS標準のドライバーが自動的にインストールされます。

※パソコンによってUSBポートの位置は異なります。



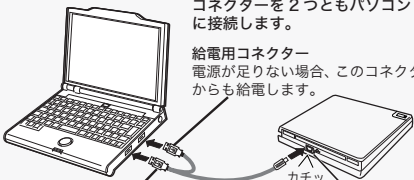
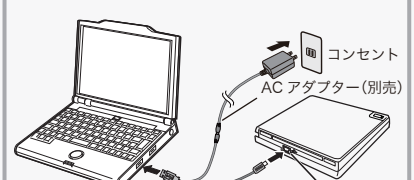
USBポート カチッ USBケーブル USBポート (Mini-B)

**BD-R メディアに書き込みをする場合は、必ず本製品にダブル給電ケーブルを接続してください。**  
ダブル給電ケーブルを接続していないと、書き込み時にエラーが発生し、メディアが使用できなくなることがあります。

**正常に動作しない場合は、ダブル給電対応USBケーブル、またはACアダプター(別売)を接続してください。**

**<ダブル給電対応 USB ケーブルを接続する場合>**  
ダブル給電対応 USB ケーブルのコネクターを2つともパソコンに接続します。  
給電用コネクター電源が足りない場合、このコネクターからも給電します。

**<ACアダプター(別売 AC-DC5PSC)を接続する場合>**  
AC アダプターをコンセントに接続します。

必ず接続してください。接続しないと、本製品を使用できません。

### チェック

コンピュータ(マイコンピュータ)に以下のアイコンが追加されましたか?  
アイコンが追加されていない場合は、USBケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、ACアダプターを接続してください。

※まれにパソコン(Windows)のレジストリ情報が破損しているためにアイコンが表示されないことがあります。その場合は、弊社ホームページ(buffalo.jp)の検索ウィンドウに半角で「BUF18242」と入力し、検索ボタンをクリックしてください。対策方法をご案内しています。

Windows 7/Vista の場合 Windows XP の場合

必ず接続してください。接続しないと、本製品を使用できません。

**注意**

- 必ずパソコンをコンセントに接続してお使いください。バッテリーでの使用時は、本製品が正常に動作しないことがあります。
- ダブル給電対応 USB ケーブルは、必ずパソコン本体の USB ポートに接続してください。また、同時に複数台のパソコンに接続しないでください。
- 本製品の接続は、付属の USB ケーブルをお使いください。付属品以外を使用すると、発煙、発火の恐れや、本製品やパソコンが故障する恐れがあります。

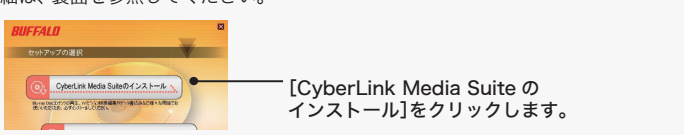
### 2 ディスクの再生や書き込みなどに必要なソフトウェアをインストールする

ディスクの再生や書き込みなどに必要なソフトウェア「CyberLink Media Suite」をインストールします。ディスクの再生や書き込みなどは、このソフトウェアを使用します。必ずインストールしてください。CyberLink Media Suiteの詳細は、裏面を参照してください。


- ユーティリティー DVD を本製品に挿入します。  
① イジェクトボタンを押し、天面板のロックを開きます。  
② 天板を開きメディアの穴をトレイの中心の突起にはめ込みます。「カチッ」と音がするまではめ込んでください。  
③ 天面カバーを閉じます。  
※トレイのレンズ部分には触れないでください。故障の原因となります。  
※Windows 7/Vista の場合、自動再生の画面が表示されたら、[DriveNav.exeの実行]をクリックしてください。また、「次のプログラムにこのコンピュータの変更を許可しますか?」や、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[はい]または[続行]をクリックします。
- デスクトップに CyberLink Media Suite のアイコン ( ) が表示されていますか?  
CyberLink Media Suite が正常にインストールされると、デスクトップに以下のアイコン ( ) が表示されます。表示されない場合は、パソコンを再起動してください。それでも表示されない場合は、CyberLink Media Suite を再インストールしてください。
- インストール画面が表示されますので、画面に従ってインストールします。  
※インストールするソフトウェアの選択画面が表示された場合は、すべてのソフトウェアを選択してください。  
※インストールに数十分程度かかります。同じ画面のまま停止しているように見えることもありますが、そのままお待ちください。  
※ユーザー登録の画面が表示されたら、ユーザー登録を行ってください。  
※旧バージョンのソフトウェアがインストールされている場合は、アンインストールされます。
- インストールが完了したら、画面に従ってパソコンの再起動をしてください。

**チェック**

デスクトップに CyberLink Media Suite のアイコン ( ) が表示されていますか?  
CyberLink Media Suite が正常にインストールされると、デスクトップに以下のアイコン ( ) が表示されます。表示されない場合は、パソコンを再起動してください。それでも表示されない場合は、CyberLink Media Suite を再インストールしてください。



[CyberLink Media Suite のインストール]をクリックします。



[かんたんスタート]をクリックします。

### 本製品の取り外し

パソコンの電源スイッチがONのときに本製品を取り外すには、本製品からメディアを取り外した後、次の手順で行ってください。

**メモ**  
パソコンの電源スイッチがOFFのときは、そのまま取り外せます。

**■Windows 7 の場合**  
本製品にアクセスしていないことを確認して、本製品を取り外してください。  
※本製品の取り外し時にパソコンの操作は必要ありません。タスクトレイのアイコン ( ) は、メディアの取り出しに使用します。

**■Windows Vista/XP の場合**

- タスクトレイに表示されているアイコン ( ) のいずれかをクリックします。  
※一部の製品ではクリックではなく、右クリックの場合があります。
- 取り外し(または停止)のメニュー項目をクリックします。
- 本製品を安全に取り外すことができるというメッセージが表示されたら、本製品を取り外します。

**メモ**  
本製品の取り外し(または停止)のメニューに表示されるデバイス名は製品によって異なります。デバイス名については、仕様を参照してください。

### Q&A/画面で見るマニュアル

#### Q&A

ユーティリティー DVD を本製品にセットしたときに表示される画面(ドライブナビゲーター)から [Q&A] をクリックするとパソコンにインストールされます。インストール後は、デスクトップにある BUFFALO「BD 製品 Q&A」をダブルクリックすると表示できます。

#### 画面で見るマニュアル

画面で見るマニュアルは、ユーティリティー DVD を本製品にセットしたときに表示される画面(ドライブナビゲーター)から [マニュアルを読む] をクリックして表示します。

### 3D再生などの使いかた

画面で見るマニュアル「使いかたガイド」を参照してください。また、ソフトウェアのマニュアルやヘルプにも使いかたが案内されていますので、あわせてご覧ください。

#### 画面で見るマニュアル「使いかたガイド」をご覧ください

使いかたガイドは、ユーティリティー DVD を本製品にセットしたときに表示される画面から、[マニュアルを読む] をクリック → [添付ソフトウェアの使いかたガイドを見る] を選択して [閲覧する] をクリックすると表示できます。

### CyberLink Media Suite について

#### ソフトウェアの概要

CyberLink Media Suite は、ディスクの再生、ディスクへの書き込み、映像編集など各用途に適したソフトウェアを収録したソフトウェアパッケージです。ここでは、収録されたソフトウェアの概要を説明します。

**注意**

- CPRM 保護されたディスクの再生、編集をするにはインターネット接続による認証が必要です。
- 「1 回だけ録画可能(コピーワンス)」データを録画した、または「ダビング10」でムーブした CPRM 対応メディアの再生をデジタル出力(DVI/HDMI)するには、HDCP 対応 VGA カードと HDCP 対応モニターが必要です。


**映像(映画など)ディスクの再生や、DVDレコーダーなどで録画したディスクを再生するには**

**<PowerDVD(Blu-ray 3D&擬似3D再生/アップスケーリング再生対応)>**  
映像ディスクの再生ソフトウェアです。Blu-ray メディアの映像コンテンツや DVD-Video、市販の DVD レコーダーで録画したディスクなどを再生することができます。さらに、Blu-ray 3D コンテンツや DVD-VIDEO を擬似 3D 化して再生することもできます。また、BD/DVD レコーダーで録画された AVCREC 形式のディスクの再生や、インターネットを使用して BD ディスク (BD-Live 付) のコンテンツにアクセスできるサービス「BD-Live (Media Disc Profile 2.0)」、Intel、NVIDIA、ATI の各グラフィックカードに最適化して低い CPU 使用率でストレスのない映像を楽しむことができる「グラフィックボードの再生支援機能(ハードウェアアクセラレーション)」に対応しています。

**BD-Live (Media Disc Profile 2.0) について**  
本製品は、BD-Live に対応しています。BD-Live とは、Blu-ray ディスクの新しい機能で、インターネットを使用して BD ディスク (BD-Live 付) のコンテンツにアクセスできるサービスです。BD-Live 対応ディスクで、多様な最新のコンテンツ(最新の予告編、BD-Live だけの特典やイベントなど)のダウンロードや、画期的なインタラクティブ機能を使ったコンテンツを鑑賞できます。使用方法は、BD-Live 対応のディスクをご覧ください。

**パスワード保護(暗号化)したディスクの作成や、音楽 CD の作成、ディスクをコピーするには**

**<Power2Go>**  
データディスクや音楽 CD などを作成するソフトウェアです。作成するディスクを暗号化する機能も備えています。暗号化されたデータの読み出しにはパスワードが必要となるため、万が一、紛失や盗難にあった場合でも外部へのデータ流出を防ぐことができます。



本製品を選択してお使いください。

**映像の編集をしたり、SD 画質の映像を HD 画質にアップスケーリングして、AVCHD や Blu-ray ディスクの作成をするには**

**<PowerDirector(アップスケーリング保存対応)>**  
動画編集をしたり、市販の Blu-ray プレーヤーで再生可能な Blu-ray ディスク (BD-RE 形式や BDMV 形式) の作成や、DVD-Video などの映像ディスクの作成ができるソフトウェアです。AVCHD 形式のハイビジョン DVD ディスク作成も可能です。PSP® や iPod で再生可能な MPEG4 ファイルの作成も可能です。  
※PSP®「プレイステーション・ポータブル」は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。  
※本製品は、株式会社パフローのオリジナル製品であり、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのライセンス商品ではありません。  
※PSP®システムソフトウェアは、随時提供するバージョンアップによって様々な機能追加やセキュリティの強化を行っております。お客様がお持ちの PSP®バージョンをご確認のうえ、常に最新版にアップデートしてご利用ください。PSP®システムソフトウェアの情報やアップデート方法については株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品情報ページ (www.jp.playstation.com/psp/) をご覧ください。  
※iPod は、米国ならびにその他の国において登録されている米国アップルコンピュータ社の商標です。

**映像をディスクに保存する(オリジナル映像ディスクの作成)、DVDレコーダーで録画した映像を編集するには**

**<PowerProducer>**  
高画質のハイビジョンデジタルビデオカメラで撮影した HD 映像をキャプチャーしたり、市販の Blu-ray プレーヤーで再生可能な Blu-ray ディスク (BD-RE 形式や BDMV 形式) の作成や、DVD-Video などの映像ディスクの作成ができるソフトウェアです。AVCHD 形式のハイビジョン DVD ディスク作成も可能です。

**パソコンのデータを自動的にバックアップするには**

**<PowerBackup>**  
データのバックアップソフトウェアです。起動ドライブの環境をバックアップすることもできます。バックアップするデータを DVD や CD に保存したいときにお使いください。

**パソコンのデータをディスクに保存するには**

**<InstantBurn>**  
ハードディスクや USB メモリーのようにファイル単位でデータを書き込むことができるソフトウェアです。

**オリジナル DVD-Video の作成やビデオ、写真の管理、編集するには**

**<MediaShow>**  
ビデオや写真の編集・管理をするソフトウェアです。メニュー、ディスクタイトル、音楽を付け加えるなど、お好みに合わせてオーサリング(DVD-Videoの作成)が可能です。また、写真を Windows のスクリーンセーバーと利用したり、動画を Web で公開することもできます。その他、大量の写真に写っている顔を判別して写真整理のできる「フェイスタグ」機能も備えています。  
※MediaShow がサポートするビデオ形式(ビデオフォーマット)、画像形式(画像フォーマット)は以下のとおりです。  
ビデオ形式 : DV-AVI、MPEG-1、MPEG-2、DVR-MS、WMV  
画像形式 : BMP、JPEG、PNG



# 傷や汚れのついたメディアの読み取りについて

本製品には、以下の機能があり、傷や汚れのついたメディアでも停止することなく読み取りを行うことができます。

### 注意

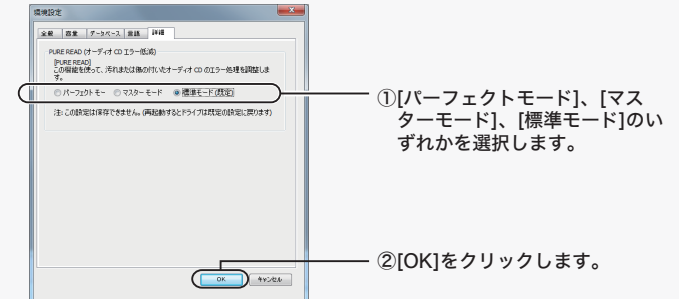
全てのメディアに対して読み取りを保証するものではありません。

## PowerRead機能(PowerDVD)

DVD-Video再生時にメディアの読み取りエラーが発生した場合、再生を停止せずに次のデータを読み取る機能です。DVDプレーヤーなどで停止してしまうメディアでも、停止することなく再生を行うことができます。PowerRead機能は、PowerDVDで再生しているときに自動的にONになります。

## PURE READ機能(Power2Go)

音楽CDの読み出しエラーが発生した場合、ディスク状況を自動判断、自動調整し、最適な読み取りを行うことで、エラーデータによるデータ補間の発生を低減する機能です。よりオリジナルに近いデータの読み取りを行うことができます。PURE READ機能は、Power2Go(ライティングソフトウェア)と連携して動作し、以下の3つの設定から選択できます。設定を変更する場合は、Power2Goの画面で「プロジェクト」-「環境設定」を選択し、画面上にある「詳細」をクリックしてください。



①[パーフェクトモード]、[マスターモード]、[標準モード]のいずれかを選択します。

②[OK]をクリックします。

- ・パーフェクトモード (PURE READ機能ON)
 

音楽CD読み取り中に傷や汚れによるリードエラーが発生した場合、自動調整を行い、再度読み取りを行います。一定回数行って読み取り不可能と判断した場合、エラーを返し、読み取り動作を停止します。同ディスクで再度読み取りを行う場合は標準モード、もしくはマスターモードに設定を変更して再度読み取りをしてください。
- ・マスターモード (PURE READ機能ON)
 

音楽CD読み取り中、傷や汚れによるエラーが発生した場合、自動調整を行い再度読み込みを行います。一定回数行って読み取り不可能と判断した場合、データの補間をして読み取り動作を継続します。
- ・標準モード (既定) (PURE READ機能OFF)
 

音楽CDの読み取り中、傷や汚れによるエラーが発生した場合、データの補間をして読み取り動作を継続します。



「OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。」

## CyberLink Media Suiteのご質問、お問い合わせ先

**お問い合わせ先** サイバーリンク株式会社

**電話** 0570-080-110 (一般電話)  
03-5205-7670 (PHS、一部IP電話など)

**受付時間** 10:00～13:00 14:00～17:00  
(土日祝日、サイバーリンク社休業日を除く)

**インターネット** <http://support.jp.cyberlink.com>

※ソフトウェアのユーザー登録は必ず行ってください。  
※株式会社バッファローでは、CyberLink Media Suiteに関するお問い合わせは承っておりません。あらかじめご了承ください。

## ドライブ本体、DiXiM BD Burner for BUFFALOのご質問、お問い合わせ先

右に記載の株式会社バッファローサポートセンターへお問い合わせください。

# 使用時の注意

以下の注意を必ずお守りください。

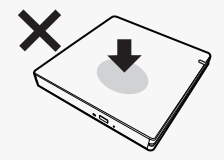
### 注意

あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 本製品を移動するときは、必ずメディアを取り出してください。  
メディアを入れたまま移動させた場合、本製品やメディアが破損する恐れがあります。
- 右図で指している場所を押したり、強い力を加えないでください。  
強い力を加えると、トレーが閉まらなくなったり、変形して故障の原因となることがあります。



メディア挿入状態で移動禁止



図示の場所を押すこと禁止

- 本製品に電源スイッチはありません。  
電源をOFFにするときは、本製品をパソコンから取り外してください。
- 本製品を長時間使用した場合は、一旦パソコンから取り外した後、数分経ってからお使いください。  
本製品を長時間使用した後、そのまま書き込みなどを行うと、正常に動作しないことがあります。

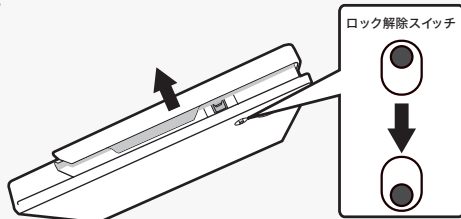
- カートリッジ付のDVD-RAMディスクを使用する場合は、カートリッジからディスクを取り出して本製品にセットしてください。  
カートリッジ付のDVD-RAMディスクは、そのまま使用できません。

- 一部のウイルス対策ソフトウェアをお使いの場合、本製品の動作が不安定になることがあります。

# メディアが取り出せなくなったときは

- メディアが取り出せなくなったときは
  - ①USBコネクタ (USBケーブル) を外してください。
  - ②少し本体を持ち上げて底面にあるロック解除スイッチ中央の突起を、リア(背面)側に軽く押し下げてください。

天面パネルのロックが外れます。本体を元通りに置いてから天面パネルを開いてください。



※これは正面から見た図です。

### 注意

- 本体を傾けすぎないでください  
本体を傾けすぎた状態でロックを解除すると、天面パネルが勢いよく開いてしまいます。背面の結合部で指をはさんだり、天面パネルの故障の原因となりますので、できるだけ水平に近い状態で、天面パネルのロック解除を行ってください。
- 天面パネルの開閉時に指をはさまないように注意してください  
本体を手に持った状態で、天面のOPENボタンを押したり、底面のロック解除スイッチを押したりすると、背面の結合部で指をはさむおそれがあります。やむを得ず手で持たなければならぬときは、指をはさまないように注意してください。
- 通電時には使用しないでください。  
必ず本製品からUSBコネクタ (USBケーブル) を外してください。

# 安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には当社製品だけでなく、当社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。

## 使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味	説明
	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをししたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。
絵記号の意味	説明
	警告・注意を促す内容を示します。(例:  感電注意)
	してはいけない事項 (禁止事項) を示します。(例:  分解禁止)
	しなければならない行為を示します。(例:  プラグをコンセントから抜く)

- 警告**  
 **電源プラグを抜く**  
本製品に液体をかけたり、異物や内部に入れたらないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。  
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。当社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 警告**  
 **濡れた手で本製品に触れないでください。**  
電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていないくても、本製品の故障の原因となります。
- 警告**  
 **煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。**  
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。当社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

- 強制**  
 **電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。**  
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。
- 強制**  
 **本製品の取り付け/取り外しをするときは、本製品およびパソコン、周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。**  
電源プラグがコンセントに接続されたまま、取り付け/取り外しを行うと、感電および故障の原因となります。
- 強制**  
 **電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。**  
さわってけがをする恐れがあります。

- 禁止**  
 **AC100V(50/60Hz) 以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。**  
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。
- 禁止**  
 **レーザー光線を直射しないでください。**  
トレーを開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。レーザー光線が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。
- 強制**  
 **小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。**

- 禁止**  
 **風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。**  
火災になったり、感電や故障する恐れがあります。
- 強制**  
 **電源ケーブル (または ACアダプター) を傷つけないでください。**  
設置時に、電源ケーブル(ACアダプター)を壁やラック(棚)などの間にはさまんだりしないでください。  
重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。  
熱器具を近付けたり、加熱しないでください。  
電源ケーブル(ACアダプター)を抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。  
極端に折り曲げないでください。  
電源ケーブル(ACアダプター)を接続したまま、機器を移動しないでください。  
万一、電源ケーブル(ACアダプター)が傷んだら、当社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 禁止**  
 **電源ケーブル (または ACアダプター) には必ず本製品付属のものをお使いください。**  
本製品付属以外の電源ケーブル (内部接続用含む)、ACアダプター、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

- 注意**  
 **静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。**  
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。
- 強制**  
 **本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内(ハードディスク等)のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。**  
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。  
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 禁止**  
 **本製品の上に物を置かないでください。**  
傷がついたり、故障の原因となります。
- 強制**  
 **パソコンおよび周辺機器の取り扱いには、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。**
- 禁止**  
 **次の場所には設置しないでください。**  
・強い磁界、静電気が発生するところ  
・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ  
・ほこりの多いところ  
→故障の原因となります。  
・振動が発生するところ  
→けが、故障、破損の原因となります。  
・平らでないところ  
→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。  
・直射日光が当たる場所  
→故障や変形の原因となります。  
・火気の周辺、または熱気のあるところ  
→故障や変形の原因となります。  
・漏電、漏水の危険があるところ  
→故障や感電の原因となります。

- 注意**  
 **メディアは次の点に注意して大切にお使いください。**  
・直射日光を当てないでください。  
・シンナーやベンジン等の有機溶剤を使ってお手入れをしないでください。  
・汚れは、少量の水で濡らせた柔らかい布で拭き取ってください。必ず、中心から外側に向かって軽く拭き取ってください。  
・表面に傷を付けたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。  
・高温、多湿になる場所や、ほこりの多い場所に置かないでください。  
・表面に手を触れないでください。  
・両端を持つと、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。  
・持ち運ぶときは、必ずプラスチックケースに入れて大切に持ち運んでください。
- 禁止**  
 **本製品へのアクセス中は、本製品から接続ケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンを再起動しないでください。**  
データが消失、破損する恐れがあります。
- 禁止**  
 **ひびわれや変形、補修したメディアは使用しないでください。**  
本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。
- 禁止**  
 **トレーに、メディア以外のものを載せないでください。**  
故障や火災の原因となります。
- 禁止**  
 **本製品へのアクセス中は、電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしたりしないでください。**  
データが消失、破損する恐れがあります。

- 強制**  
 **定期的なレズのクリーニングを行ってください。**  
本製品内部のレンズ等に、ほこりやタバコの煙等が付着し、メディアの再生が正常にできなくなったり、書き込みができなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。
- 禁止**  
 **メディアの反射光が刺眼の原因となりますので、次のことは行わないでください。**  
・表面(レーベル面)に傷を付けないでください。  
・メディア同士を重ねないでください。  
・レーベル面にタワトルなどを書き込み、または、ボールペンなどの先の硬い筆記用具を使用しないでください。  
・シールやラベルなどを貼らないでください。

- 禁止**  
 **シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。**  
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。
- 禁止**  
 **本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。**  
本製品は精密機器ですので、衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。本製品の故障の原因となります。
- 強制**  
 **メディアを入れたまま移動しないでください。**  
本製品の動作中または、メディアを本製品に入れた状態での移動はしないでください。メディア、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は必ずメディアを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

- 強制**  
 **各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。**  
故障の原因となります。
- 注意**  
 **トレーに手を入れ、挟まないように注意してください。**  
けがの恐れがあります。
- 禁止**  
 **メディアを入れたまま移動しないでください。**  
本製品の動作中または、メディアを本製品に入れた状態での移動はしないでください。メディア、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は必ずメディアを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- 強制**  
 **本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。**  
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

「設定がうまくいかない」、「故障かな?」と思ったら

マニュアル・ホームページ

● マニュアル (印刷物、添付 CD 等) の設定内容・困ったときは (Q&A) をご確認ください。  
● お客様からのよくあるお問い合わせや、最新ドライバー・ファームウェアを以下のホームページで確認できます。解決できる場合がありますので、ぜひご覧ください。

PC ハローバッファロー **86886.jp** (http://www 不要) 86886.jp

サポートセンターのご案内

**個人のお客様窓口**

● インターネット (Eメール) : ※お問合せフォームからご質問いただけます。

PC ハローバッファロー **86886.jp/mail/** (http://www 不要)

● 電話: お問い合わせの際には、1. ご使用の弊社製品名 2. パソコンの型番 3.OS のバージョン 4. トラブル内容をお知らせください。  
受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。  
最新の内容は、弊社ホームページ (86886.jp) でご確認ください。  
**050-3163-1825** 9:30~19:00 (年末年始、法定点検日を除く)  
※ 個人のお客様で上記番号がご使用にできない場合、NTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、052-619-1825 におかけください。

**法人のお客様窓口**

※法人のお客様窓口では、個人のお客様からのお問い合わせは、お答えすることができません。ご了承ください。

● インターネット (Eメール) : ※お問合せフォームからご質問いただけます。

PC ハローバッファロー **86886.jp/hojin/** (http://www 不要)

● 電話: お問い合わせの際には、1. ご使用の弊社製品名 2. パソコンの型番 3.OS のバージョン 4. トラブル内容をお知らせください。  
受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。  
最新の内容は、弊社ホームページ (86886.jp) でご確認ください。  
**050-3163-2000** 9:30~12:00 13:00~17:00 (土日祝日、夏期休暇、年末年始、法定点検日を除く)  
※ 法人のお客様で上記番号がご使用にできない場合、NTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、052-619-2000 におかけください。

**修理のご案内**

「故障かな?」と思ったらときは、上記サポートセンターにご連絡いただくか下記のホームページから修理の申し込みをおこなってください。

PC ハローバッファロー **86886.jp/shuri/** (http://www 不要)

携帯電話で修理品の送付先を確認することができます。  
右のバーコードを携帯電話で読み取ってください。

**添付品の販売 (備品販売窓口) ・ ユーザー登録のご案内**

添付品の販売、ダウンロードの代行サービス (有料) PC ハローバッファロー **86886.jp/bihin/** (http://www 不要)

ユーザー登録 PC ハローバッファロー **86886.jp/user/** (http://www 不要)

We provide technical and customer support only in Japanese OS. We provide technical and customer support only in Japanese language. We provide technical and customer support only for use in Japan. 弊社へご提供の個人情報等は次の目的にのみ使用し、お客様の同意なく第三者への開示は致しません。 ※お問合せに関する連絡・製品向上の為にアンケート(サポートセンター)・添付品の販売業務(備品販売窓口)・製品送達/詳細帳簿の確保/見積り/品質向上の為に送達後の動作状況確認(修理センター)